

スタスタLIVE英検

オンライン英検®専門指導 個別学習設計

SAMPLE

架空のモデルケースです

CASE 02 JUNIOR HIGH / EIKEN GRADE PRE-2

中学2年生 岡田 陸さん

英検準2級 合格プラン

現在地の診断と、合格までの学習設計

3級の成績表では、合計は合格基準を77点上回る一方、ライティングが3技能の中で最も低い状態でした。準2級では問題難度と形式が上がるため、相対的に低かったライティングを優先します。合格した級の成績表から、次の級で先に直す技能を決めるというのが今回の見立てです。

受験予定

2026年10月4日（日）

従来型 第2回 一次 / 注3

学習期間

64日間

2026年8月1日から

1日の学習量

およそ120分

定期テスト期は調整

この資料は、お一人ずつ手作りしています

本書は見本としてお見せするための架空のモデルケースです。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに、診断も図の数値も日程も文章も、すべてその方のために書き起こします。テンプレートに名前を差し替えたものではありません。

スタスタLIVE英検 無料相談資料 見本

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書に登場する人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実在の受講生とは関係ありません。問題数・満点スコア・合格基準スコア・試験日は同協会の公表情報に基づきます。

00 EXECUTIVE SUMMARY

この計画の要点

診断、最優先の打ち手、見通し、そして前提が崩れる条件。

所見

3級は合計1180点で合格。合格基準1103点を77点上回りました。技能別CSEではリスニング430点、リーディング400点、ライティング350点で、ライティングが3技能の中で最も低い状態です。準2級では問題難度と形式が上がるため、この技能を優先します。

最優先の打ち手

3級で通用した書き方を、準2級の型に入れ替えます。理由を2つ挙げ、それぞれを一段掘り下げる骨格へ。

なぜここを最優先に置くか。準2級のライティングは、形式こそ3級と同じEメールと意見論述の2問ですが、求められる語数と理由の掘り下げ方が上がります。3級の型のまま書くと、文法が正しくても内容が薄いという評価になります。さらにこの技能は**2級の英文要約、準1級の意見論述までそのまま持ち越せます**。いま投資して効果がいちばん長く続くのが、ここです。

数字で見た見通し

3級 合計スコア 1180 / 1650 合格基準を77点上回る	ライティング 350 / 550 3技能の中で最も低い	優先技能 ライティング 3級の成績から判断	一次まで 64 日 8月1日から10月4日
---	--	------------------------------------	------------------------------------

見通し

64日での準2級合格を目指す計画です。3級の成績では読む・聞く技能が相対的に高く、維持しながら準2級の形式差に対応します。夏休みにライティングの型を入れ替え、9月は定期テストと並行しながら過去問で仕上げます。中2で準2級、中3で2級、高1で準1級というモデル上の道筋を置きます。

この見通しが崩れる条件

定期テスト期間に**学習が2週間以上完全に止まった**場合、10月の受験は見送ります。ただし級を落とすのではなく、2027年1月の回に時期をずらす判断をします。準2級の内容は変わらないため、期間を延ばせば合格を目指せます。学校の成績を落としてまで急ぐ意味はありません。

この資料の読み方。1章で現在地とつまずきの原因を切り分け、2章でいつ受けるかを逆算し、3章でその先の見通しを置きます。4章が日々の打ち手、5章が想定されるつまずきと計画の組み替え条件です。6章以降は進め方と体制のご説明になります。

01 DIAGNOSIS / 1

現在地を、数字で押さえる

合格した級の成績表に、次の課題が書かれています。

現在地（3級 一次の成績より）

3級 一次の合計CSEスコア（3技能・1650点満点）

合格基準 1103

1180

合格基準を 77点 上回って合格

ただし技能別に見ると、ライティングだけが一段低い状態です



図1：満点1650点、合格基準1103点、技能別満点550点は日本英語検定協会の公表情報より（注2）。技能別スコアは架空のモデルケースの数値です。実際の資料では、お手元の成績表の実数で作成します。

3級から準2級で、何が変わるか

- リーディングは30問から29問へ。問題数はほぼ同じですが、中身が変わります。長文の語句空所補充という形式が新しく加わり、読みながら文脈に合う語を選ぶ力が問われます（注1）。
- 問題数は30問のままで、3級は第1部が1回、第2・3部が2回放送なのに対し、準2級は全3部が1回放送です。聞き直せない問題が増えるため、一度で要点を取る練習が必要です。
- ライティングは同じ2問でも、別物です。Eメールと意見論述という形式は同じですが、求められる語数と、理由の掘り下げ方が一段上がります。3級の型のままでは通用しません。
- 準2級では問題難度と形式が上がります。3級の成績で相対的に低かったライティングを優先し、他の2技能は維持します。

01 DIAGNOSIS / 2

つまずきの原因を切り分ける

ライティングが伸びていない原因を4つに分け、どれが当てはまるかを判定しました。

考えられる原因	判定	そう判断した根拠	この計画での扱い
① 語彙・表現の持ち駒が少ない	一部該当	3級では足りていましたが、準2級で求められる語数を書き切るには持ち駒が不足します。	この計画でも、次の級にも持ち越します。 1日30分の語彙を継続。準2級の語彙
② 文法のミスが多い	非該当	リーディングが400点あり、文法知識そのものは入っています。書けないのは知識不足が理由ではありません。	時間を使いません。過去問で間違えた箇所からピンポイントで戻ります。
③ 型（構成）を知らない	該当	3級で通用した骨格のまま書いているため、理由が浅く、語数も足りません。準2級の採点基準に合っていない。	最優先。理由2つとその掘り下げという骨格に入れ替えます。
④ 書いた絶対量が足りない	該当	添削を受けた回数が少なく、直された点が次に反映される回転が起きていません。	週3〜4回書きます。書く量ではなく、書いて直す往復の回数を増やします。

図2：3級の成績表と、面談で伺った学習の様子から判定しています。実際の資料では、実際に書いた答案を拝見したうえでこの表を作成します。

この診断から導いた、時間配分の方針

- 該当と判定した2項目は、どちらもライティングに関するものです。1日30分を固定し、週3〜4回は必ず書いて出します。
- 文法には枠を置きません。非該当と判定した項目に時間を使うと、伸びる場所の時間が削られます。
- リスニングは維持のみ。準2級から全パートが1回放送になるため、今のうちに一度で聞き取る練習を入れます。

担当コーチの所見

合格した級の成績表を見返すと、次の級で優先する技能を決める手がかりになります。今回のモデルでは、技能別CSEのうちライティングが最も低いため、準2級で形式と語数が変わる前に型を入れ替えます。リーディングとリスニングは維持しつつ、準2級の形式差に対応します。中学2年の今は、学校や定期テストと両立できる配分で取り組みます。

02 BACKCASTING ゴールから逆算する

64日で準2級。そして、そこで止まらない設計にします。

目標は**2026年10月4日（日）**の一次試験、8月1日から数えて**64日**です（注3）。中学2年のこの時期は、部活と定期テストの合間ではありますが、**受験学年に入る前のいちばん動ける時期**でもあります。ここで準2級まで届かせておくと、中学3年で2級を狙えます。



図3：一次試験日は日本英語検定協会が公表している2026年度第2回の日程です（注3）。二次はA日程が11月8日、B日程が11月15日で指定されます。

1日のうち、英語に充てる時間の内訳（合計およそ120分）

語彙 30分	長文 40分	ライティング 30分	聞く 20分
一部該当のため継続	新形式への備え	該当2項目に対応	強みの維持のみ

部活のある日は短く、休みの日に厚く。1週間の合計で管理するので、忙しい日があっても崩れません

図4：配分は診断の判定に対応させています。実際の資料では、部活の時間、定期テストの日程、学校行事を伺ってから決めます。

中学生の計画で、いちばん大事なこと

定期テストと部活を無視した計画は続きません。だから**1日ではなく1週間の合計で管理**し、崩れた週は次の週で取り戻す形にします。崩れること自体は織り込み済みで、**崩れたときにどう戻すかを決めておくのが計画の役目**です。テスト2週間前は英検の学習を軽くし、その分を前後の週に寄せます。学校の成績を落としてまで進める意味はありません。

03 ROADMAP 合格までの全体像

準2級はゴールではなく、通過点として置きます。

中2で準2級、中3で2級、高1で準1級という道筋を置きます。到達時期は現在地と学習量によって変わります。英検を入試に利用できる大学・方式はありますが、必要な級・CSEスコアなどは志望校ごとに確認します。

一次試験の合格基準CSEスコア

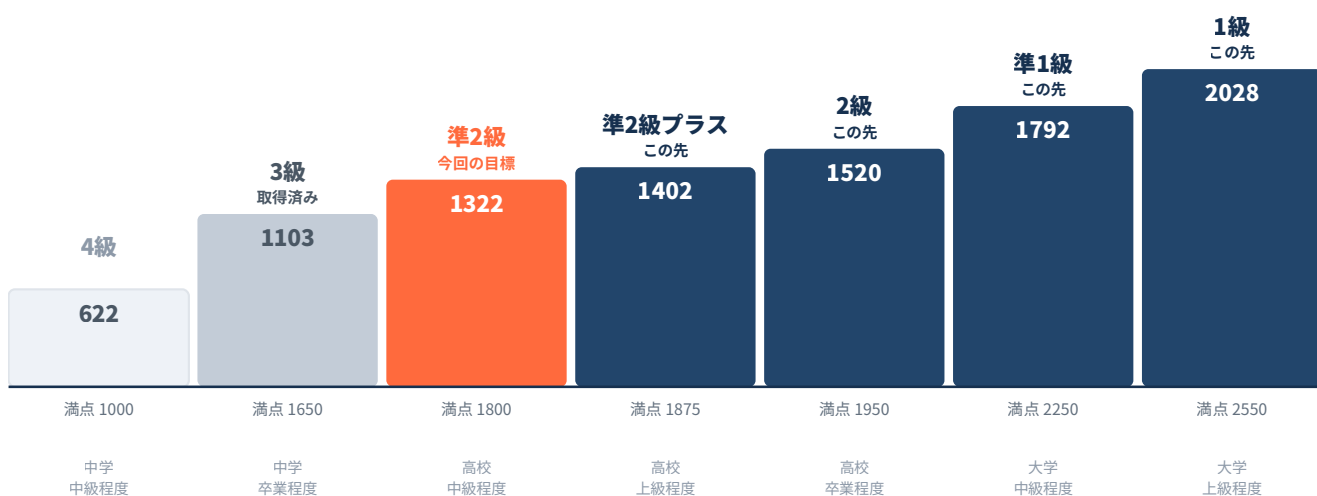


図5：棒の高さは一次試験の合格基準CSEスコアです（注2）。各級の満点CSEと、英検協会が示す級の目安も併記しています（注4）。

一気通貫で進めるという考え方

- ・中2で準2級（今回） 高校中級程度の目安です。
- ・中3で2級 高校卒業程度の目安です。英検を入試に利用できる学校・方式はありますが、条件は志望校ごとに確認します。
- ・高1で準1級 大学中級程度の目安です。入試利用の条件や個別試験対策は、志望校・方式ごとに異なります。
- ・高2以降で1級 大学上級程度の目安です。試験形式は各級の公表情報で確認します。

先の級まで見通すと、現在の級で優先する技能を整理できます。このモデルでは、準2級でライティングの型を優先し、次の2級で加わる英文要約まで見通して練習を組みます。到達時期は現在地と学習量によって変わります。

04 PROGRAM

毎日の学習メニュー

診断で該当と判定した2項目に、時間を寄せています。

ライティング

週3〜4回

3級の型を捨てて、準2級の型に入れ替える

3級で合格できた書き方のまま準2級を受けると、語数が足りず理由が浅いという評価になります。理由を2つ挙げて、それぞれを一段掘り下げる骨格に入れ替えます。書いたものは講師が目で見te添削し、なぜその表現を選ぶのかまで授業で扱います。

なぜ。診断で該当と判定した2項目（型を知らない・書いた量が足りない）に直接対応し、次の級で加わる形式も見通して練習します。

語彙

毎日30分

でた単で、1日300正解

市販の「でた単」も、定着確認に並行して使います。学習状況を見ながら、授業で扱った語とあわせて確認します。

なぜ。「一部該当」の判定です。準2級の語彙は2級と重なる部分があるため、ここでの積み上げは次の級にそのまま持ち越せます。

長文

週2〜3回

読み方の型を先に入れる

準2級から長文の語句空所補充が加わります。一文ずつ訳す読み方では時間が足りません。段落ごとの役割を意識して読む型を先に入れます。序論、本論、結論のどこを読んでいるかが分かったら、知らない単語があっても全体の筋が追えます。

なぜ。リーディングは基準を超えていますが、新形式が加わるため、知識ではなく読み方の準備として置いています。

リスニング

1日5問

強みを、強みのまま維持する

3級で430点という土台を踏まえ、自社アプリで1日5問を続け、週1回だけ通しの模試を入れます。準2級から全パートが1回放送になるため、今のうちに一度で聞き取る練習を入れます。

なぜ。3級の成績で相対的に高い技能を維持しながら、準2級の放送形式に対応します。

文法

必要箇所

学校の進度に乗せて、足りない分だけ

中学2年の範囲は学校で進みます。準2級で必要になる範囲のうち、まだ学校で扱っていないところだけを補います。分厚い文法問題集を最初から回す必要はありません。

なぜ。診断で非該当と判定した項目です。リーディング400点が、文法知識は入っていることの裏づけになっています。

定期テストとの両立について。テスト2週間前は英検の学習を軽くし、その分を前後の週に寄せます。1週間の合計で管理しているのは、こういう調整をするためです。学校の成績を落としてまで進める意味はありません。

04 MATERIAL

語彙は、この単語帳で覚えます

その回の問題に出た語を、こちらで抽出してお渡しします。

市販の単語帳を渡して終わりにはしません。読む長文が変わるたびに、その回の問題に出た重要語を抽出し、イラスト付きの単語帳を作ってお渡しします。語の意味を文脈やイメージと一緒に確認できる形にします。

なぜ、わざわざ作るのか

- その回の長文に出た重要語を抽出し、文脈と一緒に確認します。
- イラストと例文を添え、語の意味を複数の手がかりで確認できる形にします。
- 授業で扱った長文に出た語なので、本文を振り返りながら意味を確認できます。
- 巻末テストで、意味と例文を自分で確認できる形にします。

市販の「でた単」も、定着確認に並行して使います。その回の長文に出た重要語は、文脈と一緒に確認します。

2025年度 第2回 英検 準1級
リーディング Part1・Part3
覚える単語一覧

トトマルと一緒に覚えよう！
毎日の一歩が
大きな力になるよ！

この単語帳の使い方

- すべての単語に、意味を表すイラストがついているよ！
- 声に出して読んだり、例文を音読して覚えよう！
- 最後にテストもあるから、しっかり復習できるよ！

★ Part1 語彙問題 18語 (1~6)

1 remote
リモート
人里離れた、遠隔の

The village is in a remote area.
その村は人里離れた地域にある。

2 audible
聞こえる
彼の声は聞き取れた。

His voice was audible.
彼の声は聞き取れた。

3 commuter
通勤者
彼女は毎日の通勤者だ。

She is a daily commuter.
彼女は毎日の通勤者だ。

4 commission
手数料
彼女は手数料を徴している。

She earns a commission.
彼女は手数料を徴している。

5 fatigue
疲労
彼はひどい疲労を感じた。

He felt extreme fatigue.
彼はひどい疲労を感じた。

6 abruptly
突然、急に
会議は突然打ち切られた。

The meeting ended abruptly.
会議は突然打ち切られた。

★ Part1 語彙問題 18語 (7~12)

7 tolerate
許容する、我慢する
私は寛容な人間ではない。

I can't tolerate rudeness.
私は寛容な人間ではない。

8 massive
巨大な、大規模な
そのビルは200人収容できる。

The hotel can accommodate 200 guests.
そのビルは200人収容できる。

9 accommodate
収容する、対応する
私は寛容な人間ではない。

I can't tolerate rudeness.
私は寛容な人間ではない。

10 forthcoming
近いうちに
彼は近いうちに到着する。

He was forthcoming with details.
彼は近いうちに到着する。

11 indebted
借りかかっている
彼に借金をしている。

I'm indebted to you for your help.
彼に借金をしている。

12 escort
付き添う、護送する
警察が彼を護送して帰した。

The police escorted him to safety.
警察が彼を護送して帰した。

★ Part1 語彙問題 18語 (13~18)

13 batch
一団、ひとまとまり
チームは一団で動いた。

I led a batch of coaches.
チームは一団で動いた。

14 evoke
感情などを呼び起こす
この曲は思い出を呼び起こす。

This song evokes memories.
この曲は思い出を呼び起こす。

15 figure on
覚悟にする、予測する
彼は覚悟を決めている。

He's counting on his support.
彼は覚悟を決めている。

16 shoot down
撃ち落とす、撃下する
その計画は撃たれた。

The plan was shot down.
その計画は撃たれた。

17 tear down
取り壊す
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

They decided to tear down the old building.
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

18 get down
降りる
降りてください。

Please get down at the next stop.
降りてください。

★ Part3 長文1 「Rocket Science」 前半30語 (1~6)

1 household name
有名な人、有名な人
彼女は有名な人になった。

She became a household name.
彼女は有名な人になった。

2 media coverage
マスコミによる報道
その報道は非常に正確だった。

The recent media coverage was highly praised.
その報道は非常に正確だった。

3 achievement
業績、功績
彼は重要な業績を挙げた。

His achievement was highly praised.
彼は重要な業績を挙げた。

4 behind the scenes
裏方で、裏に隠れたところ
彼は裏方で活躍している。

They worked behind the scenes.
彼は裏方で活躍している。

5 play a crucial role in
重要な役割を果たす
彼は重要な役割を果たした。

He played a crucial role in the project.
彼は重要な役割を果たした。

6 unsung hero
無名英雄、無名英雄
彼は無名英雄として活躍している。

He was an unsung hero.
彼は無名英雄として活躍している。

★ Part3 長文1 「Rocket Science」 後半30語 (7~12)

7 conduct calculations
計算を行う
彼らは複雑な計算を行った。

They conducted complex calculations.
彼らは複雑な計算を行った。

8 complex calculation
複雑な計算
この問題は複雑な計算が必要だ。

This problem requires a complex calculation.
この問題は複雑な計算が必要だ。

9 spacecraft
宇宙船
その宇宙船は非常に先進的だった。

The spacecraft was highly advanced.
その宇宙船は非常に先進的だった。

10 navigation
航行、ナビゲーション
彼らは正確な航行を行った。

They navigated the ship safely.
彼らは正確な航行を行った。

11 aerodynamics
空気力学
その飛行機は優れた空気力学を持っていた。

The aircraft's aerodynamics were excellent.
その飛行機は優れた空気力学を持っていた。

12 orbital physics
軌道物理学
その衛星は軌道物理学に基づいて設計された。

The satellite was designed based on orbital physics.
その衛星は軌道物理学に基づいて設計された。

見本：2025年度第2回 準1級のリーディングから作成した単語帳（全15ページ）。Part1の語彙18語と、長文「Rocket Science」に出た語を抽出しています。すべての語にイラスト、読み方、例文と和訳がつき、巻末にテストがあります。級と回が変われば、その回のぶんを作り直します。

05 RISK & DECISION

想定されるつまずきと、計画の組み替え

中学生の学習で実際に起きることを、先に洗い出しておきます。

先回りして手当てしておくこと

想定されるつまずき	起きやすい時期	兆候	あらかじめ決めておく手当て
定期テストで学習が止まる	9月	テスト2週間前から英検の課題が提出されなくなる。	テスト期間は英検を最小限（語彙のみ）に落とし、前後の週に寄せます。止めるのではなく、量を変えます。
部活の大会や合宿で1週間空く	8月	夏休み中に連続して手がつかない日が出る。	あらかじめ日程を伺って計画から外します。空いた分は前の週に前倒しし、後から取り戻す形にしません。
ライティングの添削が溜まる	8月～9月	書いてはいるが提出が滞り、直した内容が次に反映されない。	書く量ではなく提出の回転を見ます。3日提出がなければこちらから声をかけます。
3級の型に戻ってしまう	9月	焦ると慣れた書き方に戻り、語数が足りなくなる。	型のチェックリストを手元に置き、提出前に自分で確認する手順にします。

図6：中学生の準2級受験で実際に起きやすい順に並べています。実際の資料では、部活の種類や定期テストの日程を伺ったうえで、その方に起きやすいものを選んで書きます。

計画を組み替える条件を、先に決めておきます

定期テスト期間に 学習が2週間以上完全に止まった	10月4日の受験を見送り、2027年1月の回に切り替えます。級は落としません。 〉 期間を延ばし、準2級の合格を目指します。学校の成績を落としてまで急ぐ判断は ません。
9月の模試で ライティング以外が想定を下回った	長文の語句空所補充という新形式に対応できていないと判断します。長文の枠を 〉 40分から50分に広げ、ライティングは週3回に減らして質を保ちます。
9月半ばの時点で ライティングの型が定着した	残りを2級の準備に前倒しします。2級の英文要約は準2級にない形式なので、こ 〉 こで触れておくとか中3の学習が楽になります。

10月がだめでも、級は落としません。中学生の場合、目標級を下げると本人のモチベーションが大きく落ちます。準2級の内容は時期を変えても同じなので、期間を延ばして同じ級を取りにいくほうが結果的に速く、その先の2級にもつながります。

06 TRACKING 学習を見える化して続ける

ご家庭が学習の中身まで見なくても、進み具合が分かる状態にします。

一人ひとりに**学習計画表**を作り、毎日やることを明確にします。演習は自社アプリのスタスタAppsで正答率と弱点を数字にし、1日の学習が終わった段階でLINEに画面を送っていただきます。中学生になると、ご家庭が学習の中身まで見るのは難しくなります。**進んでいるかどうかを数字で共有できる**ようにしておくことで、口を出さずに把握できる状態を作ります。

学習のサイクル



図：授業で入れた型を宿題で使い、アプリと模試で結果を確認して、また授業に戻す。この循環があるので、やっただけで終わりません。

ご家庭にお願いすること

- 指導と添削は**すべて塾側が担当**します。丸つけや英作文の確認をご家庭でお願いすることはありません。
- お願いするのは**学習画面が届いているかを見ていただくこと**だけです。数字はこちらで集計し、必要なときはこちらからお声がけします。
- 疑問はLINEでいつでも先生に質問できます。次の授業まで抱えておく必要はありません。

本人と直接やり取りする形にもできます。中学生の場合、保護者様を経由するか、ご本人が直接LINEでやり取りするかを選べます。自分で管理する練習にもなるので、ご本人が携帯をお持ちであれば直接をおすすめしています。

07 DELIVERY 授業と、担当のこと

分かったつもりで通り過ぎる時間を作しません。

担当は固定です

毎回先生が変わることはありません。学習の進み具合を把握した担当が一人つき、4技能をまとめて見ます。技能ごとに先生が分かれることはないため、全体を踏まえた指示が出せます。1回の授業は55分です。

部活と両立できる時間に組みます

曜日固定ではなく、担当講師と直接すり合わせて組みます。部活の終わる時間が遅い日でも、遅めの開始で対応できます。定期テスト期間や学校行事も、前もって伺って調整します。

授業でやること

授業は**実際の英検の問題を使う時間**です。書いてきた英作文を添削したうえで、なぜその表現を選ぶのかまで扱い、リスニングと一緒に解いて根拠を確認します。分かったつもりで通り過ぎるのを防ぐため、**説明させる、書かせる、選ばせる**という形で理解度を確かめながら進めます。

コーチング（授業とは別の時間です）

授業の時間を学習内容に使い切るため、計画表の更新と全体の戦略は別枠で行います。準2級からリスニングは全パートが1回放送になり、2級ではライティングに英文要約が加わります。学習内容の変化も踏まえて設計し、高校受験期の配分もご相談いただけます。

相性について。大学生の先生とプロの先生が在籍していますが、料金はどちらも同じです。年齢に近いほうが話しやすく、続けやすいこともあります。万が一、担当講師との相性が気になる場合は、交代もご相談いただけます。

08 PLAN コースの選び方

回数が増えるほど手厚くなります。金額は別紙料金表をご覧ください。

今回の診断では、該当と判定した2項目のうち1つが**書いた量が足りない**でした。これは授業の回数がそのまま効く項目です。書いて出して直してもらう往復の回数が増えるほど、定着が速くなります。また準2級は二次に面接があり、その先の2級、準1級でもスピーキングは続きます。スピーキングを並行して対策できるのは月6回以上のコースなので、**月6回から8回**を推奨します。夏休みは厚く、定期テストの月は控えめにという月ごとの調整もできます。

コース	回数	対策できる範囲
ライトコース	月4回	一次対策のみ。自習を中心に、要点だけ見てほしい場合。
スタンダードコース 推奨	月6回	一次に加えてスピーキングも並行。
スタンダードコースプラス 推奨	月8回	ライティングや弱点にさらに時間をかけたい場合。
プレミアムコース	月12回	最も手厚いコースです。

オレンジの行が、このモデルケースでの推奨です。回数は週あたりではなく月あたりで設定します。金額は本書には記載していません。別紙料金表をご確認ください。

お手続きの要点

- 入会金は初月のみ。お支払いはクレジットカード決済です。
- コース変更は毎月**25日まで**のご連絡で翌月から反映されます。
- 回数は週あたりではなく**月あたり**で設定します。
- 受験直前の月だけ回数を増やす使い方もできます。
- 受講できなかった分は原則、翌月へ振替対応します。
- 友人紹介制度があります。

教材について。でた単は無料でお使いいただけます。スタスタAppsも受講中はご利用いただけます。過去問集は市販のものをご用意ください。学校で配られた文法教材があれば、それを活かします。診断で非該当と判定した文法の教材は、今回は追加しません。

09 ABOUT この資料について

見本は架空です。実物は、お一人ずつ手作りします。

ここまでお読みいただいた診断も、数値も、日程も、**架空のモデルケース**です。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに**お一人ずつ作り直します**。とくに1章の診断と5章の分岐は、その方の話を聞かなければ書けない部分です。

面談のあと、ここが差し替わります

- **診断（1章）**。つまずきの原因の切り分けは、伺った手ごたえと過去の学習経験から判断します。この資料の中心です。
- **現在地の図**。成績表をお持ちであれば、技能別CSEと大問別の正答数という実数で作り直します。
- **日程**。実際に空いている会場と日程、受験方式、申込の開始日時まで調べたうえで置きます。
- **教材と1日の配分**。お持ちの教材を仕分け、生活リズムに合わせて量を決めます。
- **リスクと分岐（5章）**。その方に起きやすいつまずきと、計画を組み替える条件を書きます。

無料相談の流れ

- 1 お申し込みいただきます。オンラインで、およそ50分です。
- 2 現在地と目標、生活リズムを伺います。分かる範囲で構いません。
- 3 あなたのための計画表をお送りします。料金表とあわせてLINEでお届けします。

最後に

準2級は通過点です。このモデルでは、中2で準2級、中3で2級、高1で準1級という道筋を置いています。到達時期は現在地と学習量によって変わります。

無料相談のお申し込みは、こちらからどうぞ。

apps.studystudio.jp/live-eiken/consultation

出典

注1 公益財団法人 日本英語検定協会「各級の試験内容」（大問ごとの形式と問題数）

注2 同「英検CSEスコアとは」および同協会FAQ（技能別の満点スコア、一次試験の合格基準スコア）

注3 同「2026年度 試験日程（個人でお申し込みの方）」（従来型の一次試験日・二次試験日）

注4 同「各級の目安」（推奨する学習の目安）

注5 スタスタLIVE英検 調べ（級間の目安学習時間）